

平成 30 年度 公益財団法人静岡県文化財団事業計画

I 基本方針

静岡県文化財団は、県の「ふじのくに文化振興基本計画」を踏まえて、グランシップの指定管理事業を適切に実施し、各種文化振興事業を推進してきた。

平成 30 年度は、第 4 期（平成 29～33 年度）グランシップ指定管理業務の 2 年度であり、引き続き「上質で多彩をより身近に」「県民との繋がりと広域的な協働・交流」「安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化」「働きやすい職場づくり」、をグランシップ運営上の基本方針として財団を運営し、様々な事業に取り組む。

特に、グランシップ企画事業については、事業の目的を「音楽文化の普及・振興」「文芸・美術等の振興」「伝統芸能の継承」「子育て世代への支援」の 4 本の柱に整理した上で戦略的に展開する。

1 上質で多彩をより身近に

- ・県と一体となって、文化芸術の振興 ―本県の文化の創造、発展、普及― を図るため、「上質」で「多彩」な企画事業では、グランシップを中心として身近な場所で行う。
- ・「ふじのくに文化情報フォーラム」の開催など、ふじのくに文化情報センターの活動を通じて、県民の文化芸術活動へ積極的に支援する。

2 県民との繋がりや広域的な協働・交流

- ・グランシップの賑わい創出を目指し、回を重ねた「レコードコンサート」に加えて、大学、公立美術館等が協働で進めている「めぐりアート」と連携した「めぐりアート+」を新たに計画するなど、静岡県立美術館、静岡県舞台芸術センター（SPAC）を縦糸に、大学、高校及び中学等の学校、市町の公立文化施設、文化芸術団体、アーティスト、マスコミ、企業を横糸に、県内関係者との連携を強化する。
- ・「音楽の広場」、「トレインフェスタ」「N響室内楽シリーズ」を始めとして、新たに若い世代を意識した「三谷文楽」「春の音楽祭」に取り組むとともに、静岡県文化プログラム推進委員会と協働で「伝統芸能フェスティバル」の実施に取り組むなど、県内外の様々な組織、個人とネットワークを構築しながら東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて本格化する文化プログラムの一翼を担っていく。
- ・貸館においても県内の文化プログラムの拠点として、関連催事の誘致に積極的に取り組む。
- ・県、するが企画観光局、市町の公立文化施設や展示施設などの関係機関と連携し、首都圏の大規模コンベンションを共同誘致する。

3 安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化

- ・ユニバーサルデザインに配慮した運営や故障個所の迅速な修繕、毎月の防災訓練の実施などにより、利用者にとって安全・安心・快適な施設運営に努める。
- ・安定的な収入の確保と経費の節減により、効率的・効果的な運営を図る。

4 働きやすい職場づくり

- ・職員の労働時間、育児休業制度の適切な管理に取り組み、仕事と生活の両立に努める。

II 事業概要

1 文化芸術の振興事業

(1) グランシップ企画事業

文化芸術は、楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらす人生を豊かにするとともに、人間性を育むことができるという視点で、複合施設としてのグランシップの特性を生かし、音楽を中心とした現代舞台芸術、文芸・美術、伝統芸能、子育て世代の支援の戦略目標の実現に向け、上質で多彩な事業を展開する。

【戦略目標別の内訳】

戦略目標	事業本数	入場参加者数
① 音楽文化の普及・振興	25 本	25,190 人
② 文芸・美術等の振興	10 本	41,300 人
③ 伝統芸能の継承	19 本	8,760 人
④ 子育て世代の支援	10 本	52,920 人
合 計	64 本	128,170 人

【事業形態別の内訳】

方 針	事業本数	入場参加者数
ア 上質で多彩な鑑賞事業 ・国内外の上質で多彩な芸術を鑑賞する機会の提供	22 本	20,490 人
イ 誰もが参加できる県民参加型事業 ・県民がステージに立つことのできる場の提供	16 本	58,450 人
ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 ・普段文化施設に来られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域や学校等での公演実施	14 本	39,670 人
エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 ・文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらう機会の提供	12 本	9,560 人
合 計	64 本	128,170 人

① 音楽文化の普及・振興

ア 上質で多彩な鑑賞事業（★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
1	ザ・ワールド・オブ・4トロンボーンズ with 熊谷和徳(タップダンサー)	5/11(金)	★☆	中ホール	450	ジャズ・クラシックの垣根を越えたクロスオーバー。トロンボーンとタップダンサーの競演
2	アンドレス・オロスコ=エストラーダ指揮 フランクフルト放送管弦楽団 ピアノ:チョ・ソンジン	6/10(日)	★☆	中ホール	800	ドイツの名門オーケストラとショパンピアノコンクール優勝者の競演
3	ナポリ・マントリン・オーケストラ	7/8(日)	★☆	交流ホール	300	マントリン発祥の地ナポリから招聘したマントリンのオーケストラ公演

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
4	ステイヴ・ガット・バンド'	9月上旬	★☆	大ホール	750	ジャズ界での伝説的ドラマーが率いるジャズバンド公演
5	バーンスタイン生誕100年記念公演 D.グルーニング・ビッグ・バンド 「ウェスト・サイド・ストーリー」	11/9(金)	★☆	大ホール	950	ウェスト・サイド物語の作曲者の生誕100周年を記念したビッグバンドジャズ公演
6	悠久のケルト 幻想の調べと癒しの歌声～アルタン～	12/1(土)	★☆	交流ホール	270	ケルト音楽の最高峰アイルランドを代表する楽団による公演
7	グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライヴ 伊藤君子	12/15(土)	★☆	中ホール	520	ジャズ界の女性ボーカリストによるクリスマスジャズ公演
8	グランシップ&静響ニューイヤーコンサート(2公演)	1/11(金)	-	中ホール	1,650	静岡交響楽団との共催で実施するクラシック公演
9	グランシップ ジャズ・ライヴ H ZETTRIO	2/10(日)	★☆	大ホール	850	若手グループによるジャズロック公演
10	NHK 交響楽団×野平一郎 プロジェクトシリーズⅡ	3/24(日)	★☆	中ホール	800	NHK 交響楽団と野平一郎氏のコラボ公演第2弾
11	登録アーティスト事業	5/5(祝) 他	-	未定	1,350	各種企画事業でのサブイベントでのミニコンサート等

イ 誰もが参加できる県民参加型事業 (★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
12	グランシップ 音楽の広場 2018	8/5(日)	★☆	大ホール	5,720	本県ゆかりの音楽家 600 人による大オーケストラ・合唱団による県民参加型公演
13	グランシップ ビッグ・バンド・ジャズ・フェスティバル 2018	8/19(日)	-	大ホール	1,450	アマチュアビッグバンドによるジャズ・フェスティバル(ジャズクリニック受講生も演奏参加)
14	【提携公演】 富士シティウインドアンサンブル 第5回演奏会	11/17(土)	-	中ホール	400	富士シティウインドアンサンブルによるアンサンブル、吹奏楽公演
15	【提携公演】 CASA BRASS ENSEMBLE プラスアンサンブルで奏でるクリスマス	12/16(日)	-	交流ホール	280	CASA BRASS ENSEMBLE によるプラスアンサンブル公演
16	【提携公演】 オペラ ティ モーダ オペラ「蝶々夫人」	1/19(土)	-	中ホール	600	オペラ ティ モーダ によるオペラ公演
17	グランシップ 春の音楽祭 2019	3/10(日)	★☆	大ホール	2,000	10代後半～40代を観客主体とした県民参加によるクロス・カルチャー型公演
18	【提携公演】 TAKE HEART BEAT Live Vol.4	3/17(日)	-	中ホール	600	TAKE HEART BEAT によるジャズ公演

ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
19	【グランシップ子どもアート体験！】 マントリン・ミニコンサート(1校)	7/9(月)	無料	小中学校、 特別支援学校等	100	ナポリ・マントリン・オーケストラによるアウトリーチ公演
20	【グランシップ子どもアート体験！】 登録アーティスト アウトリーチ(6校)	未定	無料		350	グランシップ登録アーティストによるアウトリーチ公演

エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業（☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
21	ジャズクリニック	8/18(土) 他	☆	リハーサル室他	100	ビッグ・バンド・ジャズ・フェスティバル出演者を対象としたジャズクリニック
22	第38回学生音楽コンクール（本選）	8/18(土)	-	中ホール	900	県内学生による音楽コンクール
23	ケルト音楽事前レクチャー	10～11月	☆	リハーサル室	140	ケルト音楽の理解を深める講座
24	オーケストラ塾	12月～1月	☆	リハーサル室	100	オーケストラ公演をより楽しめるように解説する事前講座
25	中学生のためのオーケストラ（4公演）	1/30(水)、 31(木)	無料	中ホール	3,760	県内中学生を招待し、上質なオーケストラ音楽を体験してもらうクラシック公演

② 文芸・美術等の振興

ア 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	グランシップ サポーター企画 懐かしの映画会	10/20(土) 21(日)	-	中ホール	320	文化庁及び国立近代美術館フィルムセンターと連携した名画の上映
2	グランシップ サポーター企画 懐かしの映画会（洋画劇場）	11/17 (土)	-	映像ホール	140	グランシップサポーターの企画による洋画DVDの上映
3	グランシップ サポーター企画 撮影サポーター写真展	11月～ 1月	無料	3階共通ロビー	2,000	グランシップ撮影サポーターが撮影したグランシップ企画事業の写真展

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
4	【提携公演】 「翔け～未来へ～」	12/9(日)	-	中ホール	700	音楽青葉会・静岡児童合唱団創立75周年記念、佐藤典子舞台生活70周年記念の公演
5	静岡の魅力フォトコンテスト（募集）	-	-	-	-	静岡県の写真文化発展と振興、また静岡の魅力を全国に発信する写真コンテスト
6	ふじのくに芸術祭春の祭典 「授賞式・開会式」	2/17(日)	無料	中ホール	300	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典受賞式・開会式（県との共催）

ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業（★中高生鑑賞プラン対象）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
7	静岡の魅力フォトコンテスト（巡回展）	未定	無料	県内大型 ショッピングモール	37,500	フォトコンテストの周知を目的とした、過去の実績作品の巡回展示
8	【出前公演】 しずおか連詩の会 in 浜松	10/28(日)	★	アクティ浜松	220	静岡ゆかりの詩人大岡信氏が提唱した連詩の創作と発表
9	詩人と語ろう！言葉を語ろう！	未定	無料	未定	20	しずおか連詩の会に連動した詩人と交流するワークショップ
10	【グランシップ子どもアート体験！】 連詩をつくらうワークショップ（2校）	未定	無料	小中学校、 高校等	100	連詩の会参加詩人による連詩の創作ワークショップ

③ 伝統芸能の継承

ア 上質で多彩な鑑賞事業 (★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	Parco Production 三谷文楽「其礼成心中」	8/10(金) ～12(日)	★☆	中ホール	2,000	文楽が初めての方でも楽しめる三谷 幸喜プロデュースの文楽公演
2	グランシップ寄席 ～春風亭一之輔・玉川奈々緒・ 神田松之丞	10/13(土)	★☆	中ホール	500	季節やテーマを設定した良質な話芸
3	グランシップ 静岡能	1/27(日)	★☆	中ホール	760	観世流能楽師による能楽公演
4	グランシップ寄席 ～林家正蔵・桂米團治～	2/17(日)	★☆	交流ホール	260	季節やテーマを設定した良質な話芸
5	人形浄瑠璃 文楽 (2公演)	3/23(土)	★☆	中ホール	1,100	文楽協会による人形浄瑠璃公演

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
6	伝統芸能フェスティバル	未定	-	未定	-	県文化プログラム推進委員会との協働 事業
7	わくわく能楽教室	9/8(土)他	-	中ホール リハーサル室	200	小学生から大学生による能楽体験 * 能楽入門公演の一環

ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
8	【出前公演】文楽事前講座	8月～ 9月	☆	掛川市	150	掛川市で実施する文楽公演に連動 した事前講座
9	【グランシップ子どもアート体験！】 人形浄瑠璃「文楽」出前講座 (2校)	未定	無料	小中学校、 特別支援学校等	200	文楽協会の協力による文楽講座 * 伝統芸能普及プログラムの一環
10	【グランシップ子どもアート体験！】 講談教室 (3校)	未定	無料		200	本県出身の6代目宝井馬琴監修の 講談教室
11	【グランシップ子どもアート体験！】 浪曲教室 (2校)	未定	無料		200	小中学生向けの浪曲教室
12	【グランシップ子どもアート体験！】 狂言ワークショップ (1校)	未定	無料		100	小学生向けの狂言教室 * 伝統芸能普及プログラムの一環
13	【グランシップ子どもアート体験！】 触れてみよう能楽師 能「羽衣」 (1校)	未定	無料		30	小学生向けの能楽教室 * 伝統芸能普及プログラムの一 環

エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 (★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
14	岩下尚史の 伝統芸能へようこそ！	4/1(日)	☆	910 会議室	190	各種伝統芸能公演に先立ち、伝統 芸能への意識を深める事前講座
15	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2公演)	6/26(火)	★☆	中ホール	1,330	国立劇場の出張公演

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
16	グランシップ 静岡能 能楽入門公演	9/8(土)	★	中ホール	830	初心者向けの能楽公演
17	人形浄瑠璃文楽事前講座	未定	☆	交流ホール	150	人形浄瑠璃文楽の公演に先立つ知識を深める事前講座
18	伝統芸能普及プログラム(能楽)	未定	無料	中学・高校・大学等	540	大学等との連携による伝統芸能ワークショップ
19	伝統芸能普及プログラム(文楽)	未定	無料		20	

④ 子育て世代の支援

ア 上質で多彩な鑑賞事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	グランシップ 世界のこども劇場 2018	8/2(木)~4(土)	☆	中ホール他	1,420	世界で活躍する劇団による児童公演
2	「おかあさんといっしょ」 ガラビコぶ〜がやってきた!! (2公演)	9/23 (日・祝)	☆	大ホール	3,000	親子向けキャラクターショー
3	ロビーコンサートシリーズ (6回)	10月~	無料	3階共通ロビー	300	グランシップ 登録アーティストによるロビーコンサート

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
4	グランシップ こどものくに 〜へんてこりんハウス〜	5/3(木) ~6(日)	無料	大ホール他	12,000	手作業や身体感覚を使って親子で楽しむ体験型イベント
5	グランシップ トレインフェスタ 2018	5/19(土)、 20(日)	無料	全館	30,400	鉄道模型コーナーやミニ列車乗車会等、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント
6	グランシップ 誰もが Wonderful アート	9/15(土) ~30(日)	無料	展示ギャラリー他	2,300	県内の特別支援学校児童・生徒による作品展「ウイズ・ハート展」とNHKハート展を開催
7	グランシップ 冬のおくりもの 2018	11/17(土)	無料	大ホール他	1,500	グランシップの賑わいを創出するためのクリスマスを盛り上げる館内装飾や展示・イベント

ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
8	【出前公演】 世界のこども劇場 2018	7/21(土)	☆	掛川市美感ホール	500	グランシップで開催する世界のこども劇場の出前公演
9		7/28(土)	☆	菊川文化会館 アエル		

エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
10	合唱ワークショップ 〜歌のメロゴランド〜	5/4 (金・祝)	無料	中ホール	1,500	体を動かしながらこどもから大人まで楽しめるワークショップ

⑤ 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

ア 広報・宣伝の展開

広報の対象に照準を合わせた実施計画を立て、販売状況に即応した広報媒体を利用した広報・宣伝を展開する。また、グランシップ企画事業の多彩さを伝え関心のある人をさらに引き込むため、セット券の種類を増やす。

イ 新たな世代への取り組み

若年層へ情報発信するツールとして、SNSを含むネットを活用し、事業に関心を持ってもらう取り組みと併せ、新たな鑑賞者層の獲得に取り組む。

ウ 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、各公演の学生チケット料金（28歳以下の大学生、子ども）を原則1,000円で設定する。

また、中学校、高校の学校行事や部活動等の課外活動による鑑賞の場合には、チケット料金を800円に割引くとともに、中高生芸術鑑賞支援制度により交通費を支援する。

さらに、高校生については、全県高校生を対象とした「高校生アートラリー事業」により、鑑賞機会の増加を促進する。

エ 県外への広報

トレインフェスタ、音楽の広場など、オリジナル性が高く静岡県らしい事業を、首都圏などでPRし、事業の認知度を高める。

(2) 文化支援

「ふじのくに芸術回廊の実現」の一翼を担い、県内の文化活動を側面的に支援する「ふじのくに文化情報センター」（平成27年4月開設）の機能強化を図るとともに、グランシップ企画事業を活用した人材育成に取り組む。

① ふじのくに文化情報センター

文化支援の県域のセンターとして、効果的で円滑な運営を図るため、運営委員会を外部専門家や有識者を始めとして、関係者で構成する組織に改組する。

ア 静岡県文化情報サイト「ふじのくに文化情報」の利用促進

催事情報に係る情報誌「GRANSHIP」の一元化の仕組みを構築した「ふじのくに文化情報」のさらなる利用促進策に取り組む。

イ 総合相談窓口の運営

面接、電話、メールによる総合案内役として相談窓口を運営し、相談事例はホームページで公開する。

ウ 交流と研修の場づくり

交流と研修・情報収集の場として、「こかげのまなびば」（月2回）と「ふじのくに文化情報フォーラム」（平成30年9月、平成31年2月）の充実を図る。なお文化情報フォーラムから新たな文化活動が生まれ、育つためのワークショップ等に取り組む。

また、学術、文化等をテーマとした「グランシップ文化講座」（2講座）やアートマネジメントをテーマとした静岡文化芸術大学との連携講座を開催する。

エ 文化活動団体の顕彰等

新たな地域文化の創造を目指し多彩で優れた文化活動団体を顕彰するとともに、県内の文化活動を発展させるため、文化団体に助成（ふじのくに文化プログラム推進事業助成）する。また、本県の文化芸術の魅力を掘り起こして発信する書籍の制作・配布に取り組む。

項 目	内 容
募集期間	平成30年8月～9月
対 象	地域文化を育て、文化の香り高い郷土づくりに貢献し、県内に活動の本拠を置く文化団体
選 考	地域文化活動賞選考委員会
賞	地域文化活動賞 1件 賞金10万円、賞状、楯 地域文化活動奨励賞、努力賞 若干 賞状、楯 *表彰式は「ふじのくに文化情報フォーラム」と同日に開催

② グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに関係する教育関係者、福祉関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「静岡県公立ホール連携支援研修事業」や大学生を対象としたインターンシップ等を実施する。

また、実演による文化芸術を県内各地で提供するため、地域で活躍するアーティストをグランシップ登録アーティストとして登録し、県内公立文化施設と連携しながら、音楽アウトリーチを実施する。

	公立ホール連携支援研修	登録アーティスト アウトリーチ	インターンシップ ^o
対 象	県内の公立文化施設職員	県内小学校、特別支援学校の児童、生徒	大学生
期 間	平成30年6月～ 平成31年3月	平成30年5月～ 平成31年3月	平成30年6月～10月
募集人員	10人程度	未定	未定

(3) 文化プログラムに対する取り組み

① グランシップ文化プログラム

「音楽の広場」「トレインフェスタ」「世界のこども劇場」「誰もが wonderful アート」を文化プログラムに相応しい内容で実施する。また、「NHK交響楽団シリーズ」では、静岡ゆかりの作曲家・野平一郎氏による静岡らしいグランシップのオリジナル楽曲の創作発表に取り組む。

また、新たに若い世代を意識した文楽と演劇を融合した「三谷文楽」やクラシックとポップス、音楽とダンスというクロス・カルチャー型志向の県民参加型音楽会である「春の音楽祭」を開催する。

② 関係機関と連携した文化プログラム

国、組織委員会、静岡県文化プログラム推進委員会との連携の下、全県的なオリンピックムーブメントの醸成に努める。

また、県内の文化プログラムの拠点として、提携公演や期間外予約などの制度を活用して、貸館においても積極的に文化プログラム関連催事を誘致する。

なお、新たに静岡県文化プログラム推進委員会事務局の円滑な運営に協力するとともに、県の共創プログラム「伝統芸能フェスティバル」の財団による実施に向け、具体的な計画づくりと調整に取り組む。

③ 文化力プロジェクト環境整備事業

ア ふじのくに文化プログラム推進事業助成

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を発展・継承し、県内外に発信するため、文化団体に対して助成する。

項目	内 容		
メニュー	事業補助	団体補助	
		「ささえる」活動団体の自立に向けた活動	しずおかの文化芸術団体のステップアップ活動
補助対象事業・活動	①住民参加型芸術文化事業 ②広域的芸術文化事業 ③国際文化交流事業	「ささえる」活動を主たる目的としている団体の組織の自立に繋がる投資的な活動	舞台芸術をはじめとする文化活動の分野において、静岡県を代表する文化芸術団体の育成に繋がる投資的な活動
補助対象者	個人又は団体	「ささえる」活動団体	文化活動団体
補助期間	単年度	複数年度 (原則3年、5年が限度)	複数年度 (原則3年、5年が限度)
補助額	上限30万円 (自己負担額1/3以内)	上限30万円 翌年度以降通減	上限30万円 翌年度以降通減
募集	年1回		
審査方法	書類審査	書類及び対面審査	
審査員	有識者及び財団役員等		

イ 本県の魅力掘り起こしと発信に係る事業

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、文化プログラムの推進につなげ、県民の共有財産として、後世に伝えていくため、書籍を制作、配布する。

ウ 次世代を担う中高生が文化芸術に触れる機会を創出する事業

文化プログラム推進の一環として、次世代を担う県内の中高生に上質で多彩な文化芸術に触れてもらうため、グランシップ企画事業の鑑賞に要する交通費を全額支援する。

2 グランシップ管理運営事業

(1) 貸館

静岡県における文化学術振興と交流促進のためのコンベンション施設として、公共性と収益性のバランスを確保しつつ「親切・丁寧・迅速・柔軟」をモットーに利用者満足度を高め、施設の利用促進を図る。

区 分	内 容
施設の貸出	・ 条例に基づく適正な施設の貸出 ・ スマートフォンに対応した会議室予約システムの運営 ・ 備品等の更新
貸館情報の提供	・ ホームページ、情報誌 GRANSHIP、DM 等を活用した情報の提供
利用者ニーズの把握	・ 催事終了後のアンケートの実施

① 利用者サービスの一層の向上

サービスの質の向上を目指し、利用者会議を開催するとともに全ての利用者に対してアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握・分析し、迅速に対応する。

また、催事開催支援サービス（ワンストップサービス）の定着を踏まえ、催事当日の運用支援など、利用者ニーズを把握してサービスメニューの拡充に努める。

② 積極的な営業活動

貸館の期間外予約制度を活用し、柔軟に予約を受け入れ、様々な文化芸術・学術催事を積極的に誘致する。

また、県内の文化芸術団体や大学等と協働関係を強め、文化プログラム関連催事をはじめとする文化芸術催事を誘致するとともに、県内企業等を直接訪問するなど、積極的な営業活動に取り組む。

さらに、既利用者に対し、ホール系の空き状況を定期的にDMで送付するとともに、県内放送局事業部やプロモーターに対し積極的な情報提供を行い、貸館利用率の向上を図る。

③ 大規模催事の誘致

国際ミーティング・エキスポ（IME）を活用し、大規模催事に関する広報・商談・情報収集を行うとともに、学会や全国大会の主催者や企画・運営企業などに対して、定期的な情報収集や営業活動に取り組む。

また、県や市町、するが企画観光局、市町の公立文化施設や展示施設などの関係機関と連携し、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時に地方へ流出する首都圏の大規模コンベンションの共同誘致に取り組む。

(2) 維持管理

① 安全・安心・快適な施設管理

すべての来館者にとって安全な施設であるとともに、安心して快適な空間であるよう、県や施設管理、警備、清掃、舞台技術の委託業者と連携して、計画的な修繕・更新の実施、故障個所の迅速な修繕に努め、適切に管理する。

② ユニバーサルデザインに配慮した施設運営

すべての来館者が、安心して利用できる施設とするため、常に来館者の目線での施設運用の見直しに努める。また毎月実施する防災訓練の中で、さまざまな来館者の避難に対応するための研修を実施する。

③ 省エネルギーと環境負荷の低減

省エネルギーを推進し環境に与える負荷を低減するため、エネルギー管理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組む。

④ 賑わい創出

グランシップを訪れたことのない人の来館につなげるため、プレミアムフライデーの参加事業であるレコードコンサート（無料）を継続するとともに、静岡大学、県立美術館、静岡市立美術館などが東静岡駅北側を中心に静岡市内各所を会場に協働で取組んでいる「めぐりアート」と連携して、新たにアートコンペを発展解消した「めぐりアート+」に取り組む。

⑤ 駐車場管理、自動販売機等管理

利用者へのサービス向上を図るため、円滑な駐車場運営ができるよう、委託業者と連携して適切な維持管理を行う。また、館内に自動販売機・公衆電話等を設置、管理する。

なお、駐車場の24時間営業と利用料金の上限（1,400円/日）制度を継続し、施設利用者以外による駐車場利用の促進を図る。

(3) サポート組織

県内の文化振興に関心があり、活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図る。

(平成30年4月1日見込)

業務区分	内 容	登録者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、ポスター・チラシの館外での掲出・配架、来館者見学案内等	67人
イ ベ ン ト	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	66人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	17人
託 児	公演時の託児サービス等	9人
文化情報運営	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」におけるコンテンツの企画・運営等	18人
計	※ 兼務含む	177人

(4) 危機管理とリスクマネジメント

『火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応』を危機管理、また『前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応』をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努める。

① 危機管理

発災時の迅速な初動態勢の確立のため、自衛消防隊の事前編成や防災訓練を毎月実施する。

② リスクマネジメント

故障による機器類の停止等のリスク回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行う。また異常・故障発生時には、来館者への影響を最小とするため、適切な応急措置を直ちに講じ、修繕を行い、財団で実施できない修繕については、県へ迅速に報告し、指示を受ける。

3 グランシップ友の会

(1) 個人会員

入会して長期間利用がない会員の適切な管理をしながら、目標会員数1万人達成のための勧誘に取り組む。

(2) 法人会員

グランシップに対する理解を深めてもらうため、各法人会員に担当を割り振り、定期的な訪問活動に取り組む。

4 文化財団法人運営

(1) 広報・宣伝

新聞広告、情報誌「GRANSHIP」やホームページ等の自己媒体、ブログやモニター等の双方向性のある手段を世代に合わせて組み合わせ、情報発信に取り組む。

① 広報調整会議の開催

財団、グランシップ全体の広報・宣伝計画を策定し、毎月1回、広報調整会議を開催し、効率的・効果的な情報発信に取り組む。なお、一方的な広報・宣伝だけでなく、県民の声を広く集め、運営に反映させるため、アンケートやモニター制度などにより県民ニーズの把握に努める。

② 多様な媒体、手段の活用

既存の媒体とインターネット等を利用した新たな媒体を効率的・効果的に組み合わせながら、若い世代から高齢者まで、様々な世代に合わせた広報・宣伝に取り組む。

【自己媒体】

- ・情報誌「GRANSHIP」（年4回発行、A4判、36P、35,000部）
- ・チラシ・ポスター（グランシップ企画事業の公演毎に作成）
- ・ホームページ、メールマガジン、ブログ、フェイスブック等のインターネット系
- ・年間イベントカレンダー（グランシップ企画事業の公演紹介、年1回発行）
- ・財団アニュアルレポート

【広告】

- ・新聞・フリーペーパーへの広告（静岡新聞他）
- ・ラジオ広告（SBS ラジオ、K-MIX、コミュニティ FM）
- ・交通広告（JR 東海静岡駅等でのポスター掲示）

【その他】

- ・記者会見や記者発表、プレスリリース等
- ・公演毎、貸館利用毎のアンケート実施
- ・グランシップ企画事業のモニター制度（10 人程度、公演鑑賞によるアンケート実施と年 4 回のモニター会議）
- ・貸館利用者による利用者会議（年 1 回）

(2) 働きやすい職場づくり

① 人材育成

ア 契約職員の正規職員化

平成 28 年度から実施している勤続年数 3 年を満了した有期雇用契約職員を対象に正規職員への登用試験を行う。

イ 専門的人材の育成

職員が最新の専門知識、技術を習得できる機会を確保するため、外部専門研修の受講を推奨する。

また、国や県の文化政策の状況、指定管理者事業計画を含めた財団の運営状況、県立文化施設や市町公立文化施設、地域の団体等との連携状況などの情報の共有化を図るため、休館日に内部職員研修を実施する。

ウ 効果的な評価制度の運用

勤務実績が優秀な職員に対しては、特別昇給及び特別研修を実施する。

*特別研修制度…優秀な職員が自ら、取得したい資格、鑑賞したい文化芸術催事、参考にした施設等を自由に選び、研修計画をたて、財団は出張扱いで費用を負担する制度

② 仕事と生活を両立できる職場づくり

ア 労働時間の適切な管理

労働法令及び労使協定を順守し、職員の出退勤の管理、時間外勤務の事前申請の徹底等による労働時間の適切な管理を行う。

各々の職員が労働時間を自己管理し、生産性の高い業務に取り組むよう、職員研修等を通じて制度の周知、意識啓発を図る。

イ 健康管理とストレスチェックの導入

職員の定期健康診断や人間ドックの検診を実施するとともに、労働安全衛生法に基づくストレスチェックの導入を図る。

ウ 育児・介護休業制度の適切な運用

育児・介護休業等に関する規程に基づき、休業制度を適切に運用する。

(3) 安定した財務管理

チケットの販売促進や積極的な営業活動、関係機関と連携した大規模催事の誘致、催事開催支援サービスの利用者増による収入の確保のほか、文化庁の国庫補助金の獲得と厚生労働省の各種助成金の活用を図る。

また、毎月、月次決算を実施するとともに、上半期終了時には中間決算を実施することにより、常に財団の財務状況を把握し、適時適切な対応ができる体制を維持する。

(4) 組織体制

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

